

正答率が低い設問

- 2(2) 底面が正方形の四角柱の構成要素や性質を基に、示された情報の式の意味を記述する
- 3(2) 1Lの大きさを表している図を基に、異分母の分数の加法における単位分数の大きさを捉える
- 3(4) 示された考えを基に、数の相対的な大きさを用いて、小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を記述する
- 2(3) 直径、円周、円周率の関係を理解している
- 4(1) 基準量と比較量の関係を表している図を判断し、百分率について理解している

課題

- ・例を生かした解答ができない。
- ・必要な言葉や数を全て使った記述ができにくい。
- ・既習内容の知識が定着していない。(円周、分数の意味、被乗数と乗数の関係、基準量と比較量の関係など)
- ・単位量の考え方をしにくい。(単位分数、計算における数の相対的な大きさの活用など)

改善策

- ・算数用語を使った授業での説明、まとめ、ノート作り、振り返りを行う。まとめは、大事な言葉や数何かが意識させながら書くようにする。(最初は「大事な言葉や数をみんなで考えながらまとめをつくる」から徐々に「必要な言葉や数を判断し自分でまとめを考えて書く」へ。)
- ・既習事項の教室掲示を行うことによって、いつでも視覚的に目に入りやすいように環境を作る。
- ・活用問題をするときには、解答を記述式にする問題を取り入れる。
- ・自力解決の時、問題把握をするために、絵や図をつかって整理しながら考えさせる。
- ・問題解決の時、帰納法、演繹法、類推法を使い、いろいろな手立てで解かせたことを交流し、自分とは違う考えに対する理解を深める機会を増やす。